



長野県鉱工業指数 2024年12月分(速報)及び2024年分(速報)をお知らせします

概況

1 2024年12月分(速報)

2024年12月の長野県鉱工業指数は、前月比(季節調整済指数)で、生産は3.4%減と2か月ぶりの低下、出荷は1.0%増と3か月ぶりの上昇、在庫は3.8%減と3か月ぶりの低下となりました。

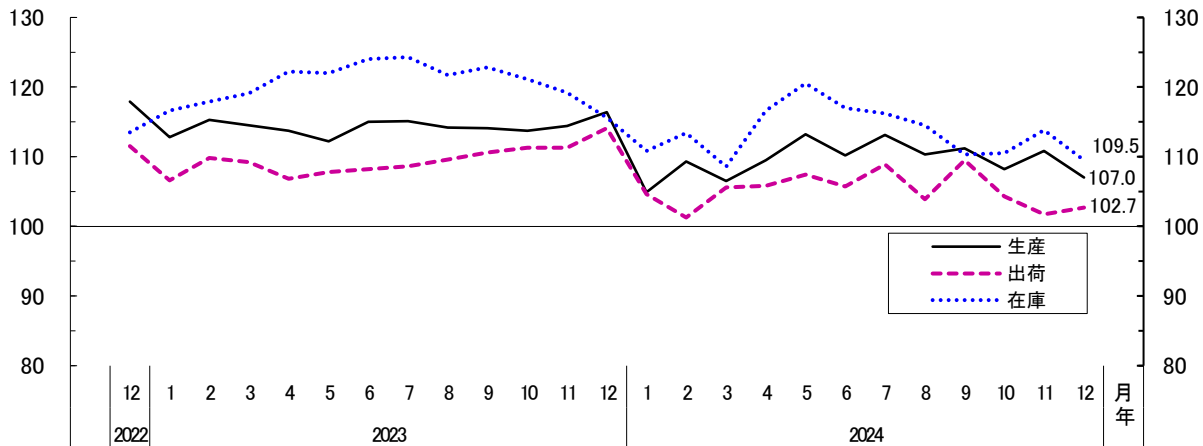
前年同月比(原指数)では、生産は6.3%減と5か月連続の低下、出荷は8.7%減と5か月連続の低下、在庫は5.3%減と13か月連続の低下となりました。

令和2年(2020年)=100

項目	季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
生産	107.0 (110.8)	△ 3.4 (2.4)	111.5 (113.9)	△ 6.3 (△ 3.1)
出荷	102.7 (101.7)	1.0 (△ 2.5)	107.7 (103.4)	△ 8.7 (△ 9.1)
在庫	109.5 (113.8)	△ 3.8 (3.0)	109.5 (116.3)	△ 5.3 (△ 4.5)

※()内の数値は、2024年11月分確報値

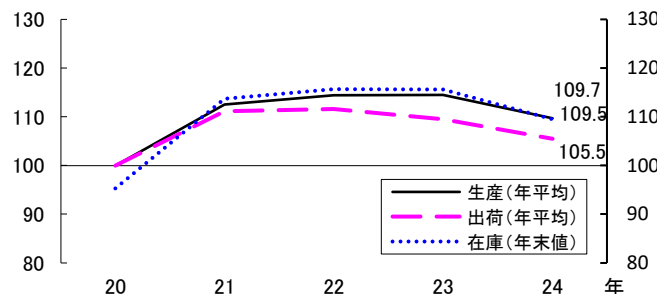
季節調整済指数の推移



2 2024年分(速報)

2024年の年間平均は、生産は4.2%減と4年ぶりの低下、出荷は3.7%減と2年連続の低下、在庫は5.3%減と2年連続の低下となりました

項目	原指数	前年比(%)
生産 (年平均)	109.7	△ 4.2
出荷 (年平均)	105.5	△ 3.7
在庫 (年末値)	109.5	△ 5.3



※1) 季節調整済指数とは、原指数を季節調整(毎年季節的に繰り返される変動を取り除くこと)した指数のことで、原指数 ÷ 季節指数により算出します。
※2) 原指数とは、生産等の基準数量(基準となる年の月平均の数量)に対する当月の数量の割合のことで、当月の数量 ÷ 基準数量により算出します。

◎「長野県鉱工業指数」はインターネットでも提供しています。⇒ <https://www.pref.nagano.lg.jp/tokei/tyousa/iip.html>

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

長野県総合5か年計画推進中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
[長野県は「SDGs未来都市」です]



長野県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

(問合せ先)

企画振興部 総合政策課統計室 統計第一係 吉澤、井上

電話：(直通) 026-235-7070

(代表) 026-232-0111 (内線) 5118

F A X : 026-235-0517

E-mail tokei@pref.nagano.lg.jp

1 2024年12月分(速報)

(1) 生産・出荷・在庫の業種別動向

		主な業種	季節調整済指数	前月比(%)	寄与した主な品目
17業種	上昇 7	輸送機械工業	125.2	7.2	自動車部品
		情報通信機械工業	162.3	2.3	
		食料品工業	103.4	2.0	
	低下 10	汎用・生産用・業務用機械工業	98.3	△ 7.5	金型(生)
		化学工業	134.0	△ 18.5	
		電子部品・デバイス工業	80.4	△ 9.4	電子回路

17業種	上昇 8	汎用・生産用・業務用機械工業	108.9	11.0	
		輸送機械工業	124.9	5.4	自動車部品
		化学工業	130.0	4.9	
	低下 9	電子部品・デバイス工業	80.0	△ 11.7	電子回路
		情報通信機械工業	111.1	△ 2.7	電子計算機及び関連装置
		窯業・土石製品工業	79.5	△ 8.4	陶磁器・ファインセラミックス

16業種	上昇 9	電子部品・デバイス工業	114.4	1.2	
		食料品工業	98.4	2.2	
		窯業・土石製品工業	73.9	5.1	その他の窯業・土石製品
	低下 7	汎用・生産用・業務用機械工業	119.9	△ 12.2	
		電気機械工業	67.3	△ 26.1	
		化学工業	191.1	△ 2.7	

※「主な業種」については、寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載してあります。

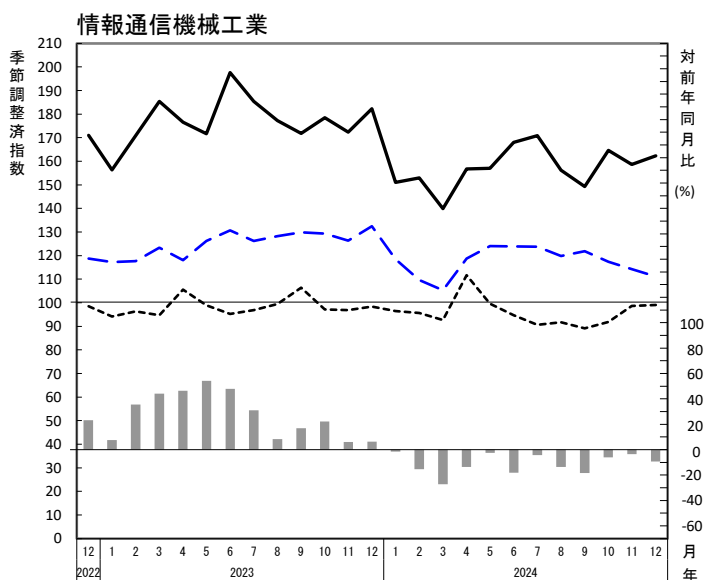
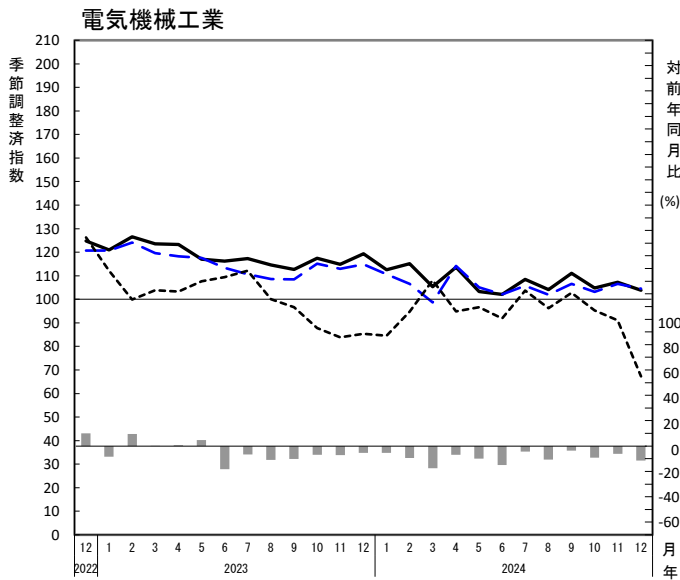
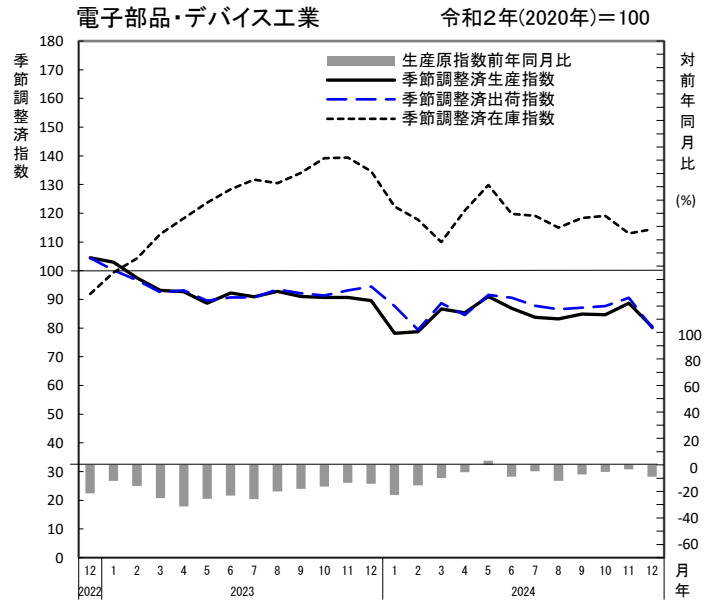
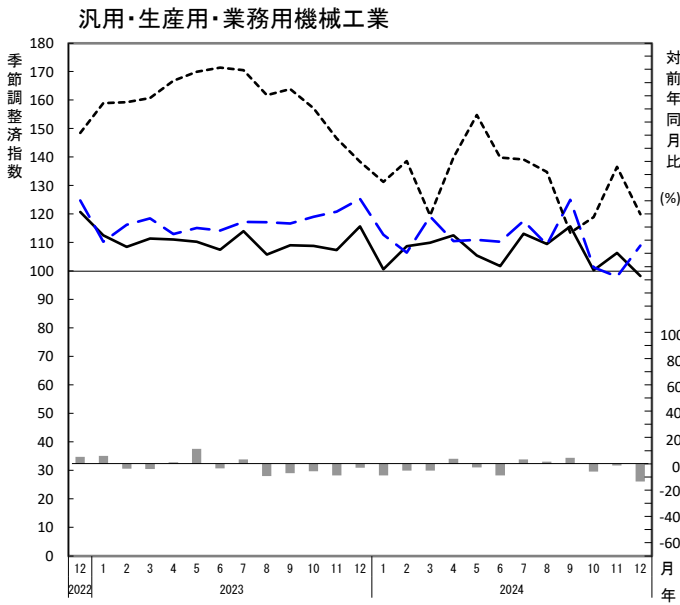
※「寄与した主な品目」については、対象事業所が少数の場合は掲載していません。

※前月比が横ばいの業種は業種数に含みません。

※「汎用・生産用・業務用機械工業」に係る、「寄与した主な品目」の()内は次の区分によります。

(汎):汎用機械 (生):生産用機械 (業):業務用機械

(4) 主な業種の生産指数等の推移



(5) 財別の動き(季節調整済指数)

令和2年(2020年)=100

項目	最終需要財		投資財		消費財		生産財	
	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)
生産	111.1 (116.8)	△ 4.9 (7.0)	103.4 (112.1)	△ 7.8 (6.4)	119.7 (121.3)	△ 1.3 (5.6)	103.1 (105.2)	△ 2.0 (△ 2.1)
出荷	109.8 (105.3)	4.3 (△ 1.9)	110.8 (103.2)	7.4 (△ 1.9)	109.3 (107.4)	1.8 (△ 2.1)	94.5 (97.6)	△ 3.2 (△ 3.5)
在庫	114.5 (124.1)	△ 7.7 (5.9)	110.3 (127.6)	△ 13.6 (10.5)	120.0 (121.1)	△ 0.9 (1.1)	102.8 (100.4)	2.4 (△ 1.5)

※()内の数値は、2024年11月分確報値

2 2024年分(速報)

(1) 季節調整済指数の動向(2024年・四半期ごと)

季節調整済指数の四半期ごとの動きをみると、

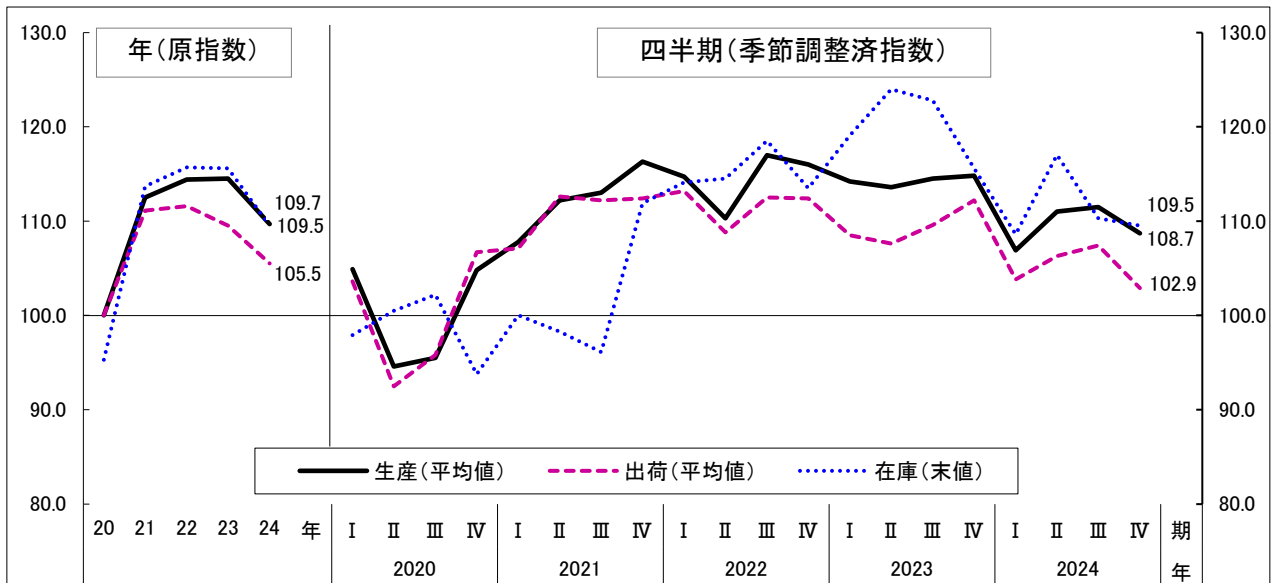
○生産は、第Ⅲ期までは上昇したのち、第Ⅳ期は低下しています。

○出荷は、第Ⅲ期までは上昇したのち、第Ⅳ期は低下しています。

○在庫は、第Ⅱ期までは上昇したのち、第Ⅲ期以降は低下しています。

鉱工業指数の推移(年・四半期)

令和2年(2020年)=100



(2) 原指数の動向(2024年・年間平均)

原指数の年間平均は、前年比で、生産は4.2%減と4年ぶりの低下、出荷は3.7%減と2年連続の低下、在庫は5.3%減と2年連続の低下となりました。

年次別鉱工業指数(原指数)

令和2年(2020年)=100

年次	生産		出荷		在庫	
	年平均	前年比(%)	年平均	前年比(%)	年末値	前年比(%)
2020	100.0	△ 9.6	100.0	△ 7.7	95.3	△ 10.5
2021	112.5	12.5	111.1	11.1	113.7	19.3
2022	114.4	1.7	111.6	0.5	115.7	1.8
2023	114.5	0.1	109.5	△ 1.9	115.6	△ 0.1
2024	109.7	△ 4.2	105.5	△ 3.7	109.5	△ 5.3

(注)2024年の数値は速報値であり、今後年間補正等により修正されることがあります。

(3)生産・出荷・在庫の動向

○生産指数(原指数)は、109.7で前年比4.2%減と4年ぶりの低下

	項目	業種数	主な業種	前年比(%)	寄与した主な品目
生産 17業種	上昇	5	化学工業 輸送機械工業 金属製品工業	14.4 5.4 4.2	自動車部品 金属製ばね
	低下	12	情報通信機械工業 電子部品・デバイス工業 汎用・生産用・業務用機械工業	△ 11.5 △ 8.5 △ 3.4	電子デバイス 金属工作機械

○出荷指数(原指数)は、105.5で前年比3.7%減と2年連続の低下

	項目	業種数	主な業種	前年比(%)	寄与した主な品目
出荷 17業種	上昇	5	輸送機械工業 化学工業 金属製品工業	6.0 7.3 2.3	自動車部品 金属製ばね
	低下	12	汎用・生産用・業務用機械工業 電子部品・デバイス工業 情報通信機械工業	△ 4.7 △ 6.2 △ 6.5	金属工作機械 電子デバイス

○在庫指数(原指数・年末値)は、109.5で前年末比5.3%減と2年連続の低下

	項目	業種数	主な業種	前年末比(%)	寄与した主な品目
在庫 16業種	上昇	4	化学工業 金属製品工業 情報通信機械工業	48.5 5.4 0.7	金属製ばね 電子計算機及び関連装置
	低下	12	汎用・生産用・業務用機械工業 電子部品・デバイス工業 電気機械工業	△ 13.4 △ 15.0 △ 21.3	

※「主な業種」については、寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載してあります。

※「寄与した主な品目」については、対象事業所数が少数の場合は掲載していません。

※前月比が横ばいの業種は業種数に含みません。

〔利用にあたって〕

1 目的

本県の鉱工業の動向をその数量的側面から総合的かつ迅速に把握することを目的としています。

2 資料

資料の出所は、主として経済産業省生産動態統計調査（統計法第2条第6項に規定する基幹統計調査）によりますが一部、関係官庁、事業所等からの提供を得ています。

3 分類

業種分類指数は、日本標準産業分類に基づき、生産及び出荷は147品目（製造工業146品目、鉱業1品目）、在庫は68品目（製造工業67品目、鉱業1品目）をもって鉱工業としたものです。

用途分類（財別）指数は、採用品目を投資財、消費財、生産財等の財別に格付し分類したものです。

4 基準年

2020年

5 ウェイト

2020年における付加価値額、出荷額、在庫額

6 算式

基準時の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式

$$\text{総合指数} = \frac{\left[\frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

7 留意事項

生産指数、出荷指数において鉱業は対象事業所が少数のため、原指数、季節調整済指数を掲載していません。

在庫指数において汎用機械工業及び輸送機械工業は在庫数量がとらえられないため、業務用機械工業及び鉱業は対象事業所が少数のため、原指数、季節調整済指数を掲載していません。

8 表中の記号

「x」は数値が秘匿されているもの、「—」は該当数値のないもの、「0」は単位未満を表わしています。

9 基準改定

2024年1月分（速報）から基準年を2020年に改定しました。これに伴い、2018年1月まで遡及し

て原指数、季節調整済指数を変更しています。

10 季節調整

生産指数及び出荷指数についてはセンサス局法（X-12-ARIMA）、在庫指数についてはセンサス局法（X-12-ARIMA の中の X-11 デフォルト）により品目別の季節指数を求めて算出しています。

注1 生産指数及び出荷指数における季節調整済指数系列は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因によっても調整されています。

具体的には以下のとおりです。

$$\text{季節調整済指数} = \text{原指数} \div (\text{季節指数} \times \text{曜日・祝祭日指数})$$

注2 ARIMA モデル、外れ値処理については、「長野県鉱工業指数基準改定の概要」を参照してください。

注3 季節調整済指数は8年間（96時点）を採用しました。

11 その他

この統計表に掲載分以前の数値を修正する場合がありますので、長期的動向を見る場合は、当課で別途刊行する「長野県鉱工業指数年報」を参照してください。

平成27年基準の指数とは、時系列比較できないことにご留意ください。